

第2号議案 令和4年度決算報告の件

令和4年度の決算報告は以下の通りです。令和4年度事業報告のご賛同の決議をお願いいたします。

貸借対照表 令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,066,787	1,070,493	△ 3,706
仮払金		152,960	△ 152,960
流動資産合計	1,066,787	1,223,453	△ 156,666
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立資金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
公益目的事業引当資産	6,017,456	13,176,268	△ 7,158,812
特定資産合計	6,017,456	13,176,268	△ 7,158,812
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	56,017,456	63,176,268	△ 7,158,812
資産合計	57,084,243	64,399,721	△ 7,315,478
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払金	41,870	180,270	△ 138,400
預り金	3,600	2,463	1,137
2. 固定負債			
流動負債合計	115,470	252,733	△ 137,263
負債合計	115,470	252,733	△ 137,263
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	56,017,456	63,176,268	△ 7,158,812
指定正味財産合計	56,017,456	63,176,268	△ 7,158,812
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,017,456)	(13,176,268)	(△ 7,158,812)
2. 一般正味財産	951,317	970,720	△ 19,403
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	56,968,773	64,146,988	△ 7,178,215
負債及び正味財産合計	57,084,243	64,399,721	△ 7,315,478

正味財産増減計算書 令和4年4月1日から令和5年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	7,158,812	4,969,046	2,189,766
受取寄付金振替額	7,158,812	4,969,046	2,189,766
雑収益	50,597	50,555	42
受取利息	597	555	42
雑収益	50,000	50,000	0
経常収益計	7,209,409	5,019,601	2,189,808
(2) 経常費用			
事業費	4,775,601	2,993,570	1,782,031
支払助成金	3,033,712	2,503,405	530,307
旅費交通費	703,830	131,050	572,780
諸謝金	66,821	24,501	42,320
食糧費	353,972	203,422	150,550
委託費	143,440		143,440
表彰費	3,055		3,055
消耗品費	212,291	29,053	183,238
雑費	3,428		3,428
通信費	34,050		34,050
印刷費	169,131	99,990	69,141
保険料	51,871	2,149	49,722
管理費	2,383,211	1,975,476	407,735
役員報酬	111,370	44,548	66,822
給料手当	1,200,000	1,200,000	0
旅費交通費	236,660	113,560	123,100
委託費	170,184	240,154	△ 69,970
租税公課	3,332	4,738	△ 1,406
食糧費	325,710	170,160	155,550
支払手数料	157,850	122,540	35,310
通信費	44,005	25,980	18,025
雑費	113,200		113,200
消耗品費	20,900	53,796	△ 32,896
経常費用計	7,158,812	4,969,046	2,189,766
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	50,597	50,555	42
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	50,597	50,555	42
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 19,403	△ 19,445	42
一般正味財産期首残高	970,720	990,165	△ 19,445
一般正味財産期末残高	951,317	970,720	△ 19,403
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
受取寄付金	0	13,000,000	△ 13,000,000
受取寄付金	0	13,000,000	△ 13,000,000
一般正味財産への振替額	△ 7,158,812	△ 4,969,046	△ 2,189,766
当期指定正味財産増減額	△ 7,158,812	8,030,954	△ 15,189,766
指定正味財産期首残高	63,176,268	55,145,314	8,030,954
指定正味財産期末残高	56,017,456	63,176,268	△ 7,158,812
III 正味財産期末残高	56,968,773	64,146,988	△ 7,178,215

財産目録 令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金 北海道銀行鳥居前支店	運転資金として	1,066,787
流動資産合計			1,066,787
(固定資産)			
基本財産	基本財産積立資金 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	基本財産として	50,000,000
特定資産	公益目的事業引当資産 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	寄付により受け入れた預金であり、公益目的事業に使用している	6,017,456
固定資産合計			56,017,456
資産合計			57,084,243
(流動負債)			
未払法人税等	市民税、道民税	法人市民税及び法人道民税の均等割額	70,000
未払金	資料発送費	公益目的事業に係る経費の未払金	41,870
預り金	源泉所得税	公益目的事業の報酬に係る源泉所得税の預り金	3,600
流動負債合計			115,470
負債合計			115,470
正味財産			56,968,773

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
公益目的事業引当資産	13,176,268		7,158,812	6,017,456
小 計	13,176,268	0	7,158,812	6,017,456
合 計	63,176,268	0	7,158,812	56,017,456

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	-
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	-
特定資産				
公益目的事業引当資産	6,017,456	(6,017,456)	(0)	-
小 計	6,017,456	(6,017,456)	(0)	-
合 計	56,017,456	(56,017,456)	(0)	-

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による振替額	7,158,812
合 計	7,158,812

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし。

監査報告書

令和5年5月10日

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会
理事長 小野寺 眞 悟 様

公益財団法人小野寺パラスポーツ振
監事 水野 克也
監事 田澤 泰明

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果につきまして、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席して、ことあるごとに、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 一 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。